

【取組内容①】 Excelシートを活用して、自他の考えを比較し、自分の考えをまとめる。

第4学年社会科「残したいもの・伝えたいもの」の学習で、異なる題材を調べる児童3、4人を1つのグループとして学習を進めた。グループで1つのExcelシートを使い、課題について、共同編集で一人一人が分かったことを自分のセルに入力した。完成したExcelシートを見ながら、3つの題材についての共通点や気づきを話し合い、それを新たなシートに反映されるように設定することで、全てのグループの話し合いの内容を一人一人が自分のパソコンで見られるようにした。



班ごとの完成させた
Excelシート

| くらべること | (1) 岩宮八幡神社 | (2) 太夫大神 | (3) ひがしね節 |
|------------------|---|--|--|
| いつ、だれが、どうして始めたのか | 1058年～1065年に三浦一族が戦争で負けてしまった後、東根市にきてこの地域の守りを守るために行った | 東根市立東根小児童の皆さんと一緒に行われていることが分かった。 | 昔はらのみぞねこうに決まったこと始まりとされている昭和47年7月に始まった。 |
| 今まで続いている理由 | 三浦一族を守るために作り、今まで続いている。昭和27年、12月9日に山形県文化財指定に指定された | みんなが大事にしようとしているから | 子どもたちを楽しませるためにつづっている。 |
| だれがどのように受け継いできたか | この東根城をほいでいた小幡の司が作ってきてくれた大切な所だから、三浦一族が受け継いできた。 | 岩山八幡神社の記録では、1625年ごろに何らかの神楽が奉納されている。また、神楽は大正7年(1918)に仙台の本子白山神社太夫大神の神楽舞音流傳の住持を受けた記録が残っている。 | これまで受け継がれてきた歴史や伝説をまもりながら、新しい風を取り入れ、老若男女が盛り上がるひがしねまつりをしていた。 |
| 今と昔のちがいは | 今の、蔵前寺田や光善寺田、中田は昔、おほりになっている | 太夫神楽は昔は今よりもメロディーが多かったけど、今はそれよりも少ないことが分かった。 | 昔は、バケツなどをたたいたして音楽をしていた。カステネットやタンバリンしかなかった。 |
| 共通すること | 1つ1つ偉い人が「神社」や「神楽」、「祭り」を作った。 | | |

| 4年2組 | |
|--------|--|
| 共通すること | |
| 1班 | ・東根市市民が昔から受け継いでいる。・昔と今ちがうことをして、盛り上げられるようにちがうことをしている。 |
| 2班 | ・みんなが大事にしようとして決めている。・すべて県の指定を受けている。 |
| 3班 | ・一つ一つ偉い人が「神社」や「神楽」、「祭り」を作った。 |
| 4班 | ・三つとも大切にしようという思いがある。・三つとも、たのしくしようとしている。 |
| 5班 | 受け継いでいる人がたくさんいる 国や、市などの地域が関係している |
| 6班 | 1つ1つ偉い人が「神社」や「神楽」、「祭り」を作った。 |
| 7班 | 頑張って受け継いできたことと祭りがあることとどん要素が増えていっていること。今まで続いている理由が |
| 8班 | 幸福になってほしいなどのねがいがつづいている。全部頑張って受け継いできた。昔より今のほうが楽しめるよ |
| 9班 | ・今まで続いている理由で大事にしようとしているものがある。・いつ、どうして、始めたか、みんなきかけが、 |

3つの題材について一人一人が調べたことについてシートを見ながら班で話し合う。

班ごとの話し合いの結果もExcelシートで共有。

3つの題材についてそれぞれが調べたことの共通点を、Excelシートを見ながら一生懸命探していた。発表による全体交流の時間を短縮することができ、自分の考えをじっくりまとめる時間を十分に確保することができた。そして、自分のグループのシートや全グループの気づきが見られるシートを見ながら、学習のまとめを自分の言葉で書くことができた。

【取組内容①】Excelの共同編集で、情報を蓄積・共有し、次の学びに生かす。

第5学年理科で、予想→仮説→実験→結果→考察の理科的思考の流れを共有することで、自分と友達の表現を見比べることができ、自分の学びに生かすことができた。

| 氏名 | 予想 | 仮説 | 実験 | 結果 | 考察 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 〇〇さん | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... |

| 氏名 | 予想 | 仮説 | 実験 | 結果 | 考察 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... |



〈児童の姿〉
 ・この実験でこういう結果がでれば、自分の予想が正しいといえそうだ。(仮説)
 ・あの子はこんな実験をするんだ。どうい結果になるのかな(実験)
 ・こういう結果がでたから、こういうことがいえる。(考察)

実験方法を考える→試してみる→まとめる→友達の実験結果と比較する。
 シートを繰り返し活用することで科学的思考の流れを意識できるようになった。

自分で実験方法を考えて、試してみる個別・多様な実践ができた。

友達の考えを自由に共有できる環境が整うと、個人で学びを続けることができるようになった。そして、個人で学びを続けることができるようになると、教師は児童の考えを授業全体に生かして授業を進めることができる。児童の学ぶ姿(〇〇さんの〇〇を活用したんだね。もう一度考え直しているんだね。等)を価値づけたり紹介したりすることで、学級全体の学びを進めることができた。

【取組内容②】 デジタル動画教材、You Tubeを活用して、児童が自分のペースで学習を進める。

第3学年算数の「円と球」でコンパスの使い方を学習する。教師が一斉指導するのではなく、教科書についているコンテンツ動画やYou Tube動画を見て、コンパスの使い方を児童が自分で学べるようにした。



Teamsにおすすめの動画をアップ。

もちろん児童同士の直接の教え合いも。



動画を見ながら、自分で使い方を学習する。



一人1台の端末を使うことによって、動画を止めたり繰り返したりと、自分のペースでコンパスの使い方を学習できた。①早くできた児童は、ノートに円をいくつもかいて練習することができた。また、児童同士が交流して、教え合ったり、自分のやり方を確かめ合ったりすることもできた。そして、動画は家でも見ることができるので、うまくできなかったところは家庭学習でも確認することができた。

【取組内容③】 端末を使って、授業と家庭学習をつなぐ。

第1学年生活科で、家族の一員として自分ができることに取り組む学習を行った。家庭で行ったお手伝いの様子を、端末を使って、画像や動画に撮ってくる宿題に取り組んだ。



これまでは、家庭で行ったお手伝いを絵日記にかいて提出していたが、実際の様子をタブレットに写しながら友達と交流できるため、質問や気付きも多く引き出すことができた。

【取組内容④】 保護者からの欠席連絡をFormsを使って集約し、Teamsを使って共有する。

これまでは児童の欠席連絡を朝の始業前に、電話で受けていた。Formsを活用することにより、保護者はいつでも連絡を送信することができるようになった。集約した欠席連絡は、Teamsで共有することにより、担任は教室で欠席状況を把握することができるようになった。

| H | I | J | K | L |
|---------|------------|---------|------------|-----------------------------|
| ▼ お子様 ▼ | ▼ お子様のお名 ▼ | ▼ 連絡の ▼ | ▼ 欠席または遅 ▼ | ▼ 理由について入力してください。(欠席の例) 咳 ▼ |
| ○年生 | 児童氏名 | 欠席 | 10/14/2023 | 熱が出てるので欠席します |
| △年生 | | 遅刻 | 10/14/2023 | 医者に行ってから登校します |
| ◇年生 | | 欠席 | 10/14/2023 | 昨日38°の発熱の為欠席します。 |
| ☆年生 | | 遅刻 | 10/14/2023 | 10時くらいに登校します |
| ㊦年生 | | 欠席 | 10/14/2023 | 体調は回復したのですが大事をとって欠席します |

担任は教室で欠席児童等を把握。

【取組内容④】 職員研修の学びを共有する。

職員研修での振り返りをExcelシートに一人一人が書き込むことで、それぞれの学びを共有することができた。また、別の研修では、動画を見ながら、自分の気づきをTeamsの投稿に書き込んだ。リアルタイムで学びの共有をしながら、研修することができた。

研修の方法はTeamsを使って連絡。

Excelシートで研修の振り返りを共有。

研修動画を見ながらリアルタイムで気づきを共有。

| No. | 氏名 | 研修Ⅰを終えての振り返り | 研修Ⅱを終えての振り返り |
|-----|-------|--|--|
| 1 | 〇〇 〇〇 | 生徒指導の考え方が、自己指導能力を高める発達支持的生徒指導に変わっていること。起ってからは、常日頃から全児童を対象に、教育活動全般で行うもの。4視点を念頭に置いて関わってきたい。 | 実効性のある組織的生徒指導を推進するためには、学校の指導力が大事。同僚性を育み、お互いの強みを生かし、弱えるような人間関係や安全性が、子どもの生徒指導を強化する教師・同僚性・子どもが主語の生徒指導が、印象に残る。 |
| 2 | 〇〇 〇〇 | 「させる」生徒指導から「支える」生徒指導への転換というところが印象的だった。社会で充実して生きていけるように支援するということを念頭に置くと、児童への働きかけ、言葉がけが変わってくると思った。 | 子どもの話を聞くとき、「確認バイアス」に気を付けたい。説に都合のいい情報を集めてしまうことが無意識に起こっては危険だと思った。見ているものは自分の心が解釈した結果、違う見方をすると話すことをもっと大切にしたい。 |
| 3 | 〇〇 〇〇 | 問題行動ではなく「問題提起行動」なんだということが印象的だった。1つの問題行動から、その子の持つ困っていることを引き出し、未然に防いでいくことの大切さがよく理解できた。子供の自分らしく社 | いろんな子供についてケース会議を行うことはとても良い。その時のアセスメントシートを活用しての可視化、性へのチームからすすませたいと思う同僚性が大切なことと |

